情報		プログラミング基礎	2年・通年・必修・履修2単位	2年・诵年・必修・履修2単位	
		小飼 敬	連絡先 電子情報工学科棟 2 階、電話029-271-2961	1 12 12 12 12 12 12	
		עם באיני	email: kogai@ece.ibaraki-ct.ac.jp		
到達目標		より高度なく言語プログラミングの学習を	E通し,コンピュータソフトウェアの開発の基礎を学ぶ。また,	ソフ	
		トウェアシステムの基本的な仕組みに焦点を当て,講義や演習を通して理解を深める。			
		1 . 複雑な手順やデータを扱うプログラムを作成するための知識や技術を身に付ける。 2 . ソフトウェア開発環境の仕組みを理解し,プログラミングに応用するための技術を身に付ける。			
					3.ソフトウェアシステムとしての構成を考え構築するための基礎知識を理解する。
			日程	授業項目	
		C言語の概要の復習	C 言語の特徴 , 利用分野		
		プログラミングの手順	プログラムの作成と実行の概要		
			エディタによるコーディング		
	第3週	プログラム実行環境	プログラムの実行とライブラリの利用		
		ソースコード	分割コンパイル, ヘッダファイルの活用		
		モジュール化	関数による機能分割		
		マクロ	マクロの定義と利用方法、関数形式マクロ		
- 1		(中間試験)			
		配列によるデータ表現(1)	文字列など配列を使った様々なデータの表現方法		
		配列によるデータ表現(2)	多次元配列を使ったデータの表現方法		
		数值表現	数値、文字などの表現方法、型の変換		
		演算子(1)	基本的な演算に対する演算子		
		演算子(2)	論理演算などに対する演算子		
		条件分岐	条件分岐を使った様々な処理		
		繰り返し	繰り返しを使った様々な処理		
		(期末試験)	117. F 2 0 0 12 10 12 10 12 10 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12		
	第16週				
後期		アドレス	アドレスの概念と表現方法		
		ポインタ	ポインタの宣言、利用方法		
		引数とポインタ	関数の引数としてのポインタの利用		
		配列とポインタ	ポインタを利用した配列の処理		
		文字列とポインタ	ポインタを利用した文字列の処理		
	第6週	ポインタの応用	ポインタを使った様々な処理		
	第7週	(中間試験)			
		ファイル入出力(1)	ファイル入出力処理の基本的な流れ		
		ファイル入出力(2)	ファイル入出力を使った様々な処理		
	第10週		構造体の仕組み		
		 配列と構造体	構造体の配列の処理		
	第12週	ポインタと構造体	ポインタを使った構造体によるデータ構造の表現		
		構造体の操作	構造体によるデータ構造への操作		
		総合的なプログラム	ポインタ, 構造体などを利用したプログラム例		
	第15週	(期末試験)			
	第16週				
履修	と上の注意	授業は演習室で行うため、指定の演習室			
学習	教育目標	票 A , B に対応 達成項目 本科	イ)、ロ)に対応 JABEE認定基準		
教科	抖書·参考	書 教科書:高橋麻奈「やさしいC」(ソフ)	トバンククリエイティブ), 資料配付		
成績	の評価方	5法成績の評価は、定期試験の成績80%、小	テストの成績20%で行い、合計の成績が60点以上の者を合格とす	する。	
及て	が合格基準				
学生	こへのメッ	ıセ 1 年次「プログラミング概論」を踏まえ	た内容なので,受講前によく復習しておくこと。「概論」より褚	复雑な	
		複情報を扱うためのプログラミングを考え作成する内容であり,授業中におけるプログラミング演習が内容理解			
習に	こついて	のために重要である。自ら考え積極的に進めるよう心がけてほしい。			

理解度欄(4:十分理解できた 3:まあまあ理解できた 2:あまり理解できなかった 1:全く理解できなかった)